第56期 中間報告書

平成28年1月1日から平成28年6月30日まで

第16回 厨房設備機器展（HCJ2016）当社出展ブース

大和冷機工業株式会社
http://www.drk.co.jp

証券コード　6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は、平成28年６月30日をもちまして、第56期事業年度の中間期（平成28年１月１日から平成28年６月30日まで）を終了いたしましたので、この期間の事業の概況をご報告申しあげます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年９月

代表取締役社長
尾﨑　敦史

事業の概況

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の増加、雇用情勢の改善など、政府の各種政策により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、円高の進行、中国や新興国経済の先行きに対する懸念など、わが国の景気を下押しするリスクにより依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境につきましては、主要取引業種の外食産業、食品業界や一般小売業等にあっては、外国人観光客の増加が売上に寄与したものの、低価格志向がいまだ根強く、また、個人消費に足踏みがみられ、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で、当社は地域密着のサービス体制を一層強化するとともに、市場に潜在しているニーズを引き出すために、飲食店へ付加価値の高い新調理システムを積極的に提案することにより、顧客満足度を高めて業績の維持向上に努めてまいりました。

その結果、当第２四半期累計期間の業績につきましては、売上高178億３千９百万円（前年同期比4.3％増）、営業利益31億７千７百万円（前年同期比2.6％増）、経常利益32億２千４百万円（前年同期比2.7％増）、四半期純利益20億８千３百万円（前年同期比8.7％増）となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善の継続により、景気の回復基調の継続が期待されながらも、円高の進行による企業収益への影響が懸念され、また、中国経済の成長の鈍化、イギリスのEU離脱によるヨーロッパ経済への影響などの海外情勢により、景気の先行きは依然として予断を許さず、当社にとって厳しい経営環境が続くと思われます。

このような環境の下、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発に繋げ、新市場の創造・新規顧客の開拓に取り組むとともに、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいる所存であります。

なお、中間配当金につきましては、前期同様１株につき５円とさせていただきましたので、ご報告申しあげます。

四半期貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債の部		
科目＼期別	当第２四半期会計期間 平成28年６月30日現在	前期 平成27年12月31日現在	科目＼期別	当第２四半期会計期間 平成28年６月30日現在	前期 平成27年12月31日現在
流動資産	**46,448**	**46,192**	**流動負債**	**9,133**	**8,814**
現金及び預金	38,504	39,036	支払手形及び買掛金	4,416	3,924
受取手形及び売掛金	4,212	4,103	未払法人税等	1,149	1,375
商品及び製品	1,962	1,339	引当金	341	413
仕掛品	283	325	その他	3,225	3,100
原材料及び貯蔵品	489	447	**固定負債**	**1,810**	**1,954**
点検修理用部品	196	199	退職給付引当金	621	784
その他	800	741	役員退職慰労引当金	1,183	1,164
貸倒引当金	△ 1	△ 1	その他	5	5
固定資産	**20,144**	**18,461**	**負債合計**	**10,944**	**10,769**
有形固定資産	**9,642**	**9,763**	**純資産の部**		
無形固定資産	**143**	**90**	**株主資本**	**55,698**	**53,872**
投資その他の資産	**10,359**	**8,607**	資本金	9,907	9,907
投資有価証券	583	674	資本剰余金	9,867	9,867
その他	9,809	7,965	利益剰余金	36,132	34,305
貸倒引当金	△ 33	△ 32	自己株式	△ 208	△ 207
			評価・換算差額等	△ 50	12
			その他有価証券評価差額金	△ 50	12
			純資産合計	**55,648**	**53,885**
資産合計	**66,593**	**64,654**	**負債・純資産合計**	**66,593**	**64,654**

（注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額（当第２四半期会計期間） 12,750百万円

四半期損益計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期累計期間 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで	前第2四半期累計期間 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで
売上高	17,839	17,110	35,956
売上原価	6,938	6,674	14,775
売上総利益	10,901	10,436	21,181
販売費及び一般管理費	7,723	7,337	15,009
営業利益	3,177	3,098	6,171
営業外収益	96	111	374
受取利息	10	10	22
受取配当金	8	7	12
スクラップ売却益	32	34	70
その他	46	58	267
営業外費用	50	70	132
スクラップ処分費	34	34	72
その他	16	35	59
経常利益	3,224	3,139	6,413
特別利益	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
特別損失	74	13	38
固定資産除却損	11	13	38
その他	62	－	－
税引前四半期（当期）純利益	3,150	3,127	6,376
法人税、住民税及び事業税	1,076	1,232	2,186
法人税等調整額	△ 10	△ 22	111
法人税等合計	1,066	1,210	2,298
四半期(当期)純利益	2,083	1,917	4,077

（注） 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期累計期間 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで	前第2四半期累計期間 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,868	3,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,343	△ 101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 256	△ 256
現金及び現金同等物の増減額	△ 731	2,680
現金及び現金同等物の期首残高	38,736	34,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,004	36,831

（キャッシュ・フローの状況）
当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は営業活動で得た資金を投資活動や財務活動に充てた結果、前事業年度末と比べて731百万円減少の38,004百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、1,868百万円（前年同期に増加した資金は3,039百万円）となりました。
これは主に、税引前四半期純利益3,150百万円、未払費用の増加771百万円、仕入債務の増加492百万円などが、法人税等の支払額1,335百万円、たな卸資産の増加額628百万円などを上回ったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、2,343百万円（前年同期に減少した資金は101百万円）となりました。
これは主に、定期預金の預入による支出3,000百万円、固定資産の取得による支出334百万円などが、定期預金の払戻による収入1,000百万円などを上回ったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、256百万円（前年同期に減少した資金は256百万円）となりました。
これは主に、配当金の支払額255百万円であります。

ノンフロンのシクロペンタンとインバータ制御を採用した環境にやさしい冷蔵庫

省エネと静音性を実現!!

ノンフロン断熱

当社では業界に先駆け、本体・扉の断熱材は発泡剤にシクロペンタンを採用しノンフロン化を実現しました。

特に縦型冷蔵庫には業界初として2007年から採用しています。廃棄製品の冷媒回収と併せてノンフロン100%を目指します。

今後さらに多くの製品に採用することで、地球環境を大切にする最良の業務用冷蔵庫・ショーケースをご提供します。

高断熱構造BOX

新開発の省エネＢＯＸは庫内の冷熱の庫外板金への伝導を遮断。

また、庫内への熱浸入を防止する樹脂コーナーを各所に配置することで冷却ロスを防ぎ、より効率的な運転が可能になりました。

インバータ制御

圧縮機と庫内ファン・凝縮ファンを高精度にインバータ制御し、省エネ・省コストを実現しました。

冷凍冷蔵庫は冷凍・冷蔵ともに圧縮機をインバータ制御。（一部機種を除く）

Daiwa ECO SPIRIT

“冷”の技術が拓いてきた「食の安全」と「美味しさ」「快適」の追求。
より多くの場面で、より多くのプロフェッショナルのニーズに応えるために、
日々進化をしてまいりました。

21 世紀は経営効率を高める一方、「地球温暖化問題」「オゾン層保護」の
ステップを確実にし、次世代に豊かな文化と未来を継続するために、
「トータルの力」で提供してまいります。

ECO SPIRIT

TOTAL SOLUTIONS

高機能・高付加価値

- 電子式鮮度保持
  [鮮度くん]
- 静音設計
  [DC ファンモータ・インバータ制御]
- センターノンピラー
  冷蔵庫 / 冷凍庫
- 恒温高湿庫
- 急速凍結庫

省エネ・省コスト

- インバータ制御
- 真空断熱材
- DC ファンモータ
- 新マイコン
- 低消費電力化
- 節水制御
- 高断熱構造
- NH ガラス

環境保護

- HFC 冷媒
- ノンフロン断熱
- フロン回収システム
- CO_2 削減

安心・安全

- アラーム機能
- 漏電ブレーカー
- 診断機能
- サービスネットワーク

衛生管理

- クリアコートステンレス
- 抗菌剤
- 防カビ剤
- 庫内アール加工

太陽光発電事業への参入と事業拡大

2013 年 5 月より佐伯工場で太陽光発電事業に参入いたしました。また同年12月より大利根工場で展開、さらに2014年7月からは佐伯市床木地区でも2メガワットの大型設備を稼動させております。3 拠点の総発電量は 4.3 メガワットとなり、当社年間消費電力量の約6割を賄っている状況にあります。

今後も再生可能エネルギー事業拡大を進め、CO_2 排出量の抑制に努めてまいります。

佐伯市床木地区太陽光発電設備

2016年の主な新製品

スチームコンベクションオーブン

「焼く・蒸す・煮込む・炊く・炒める・揚げる」等、1台で多様な調理が可能。
調理は温度・時間でコントロールするので均一の調理が提供できます。
ホテルパンサイズで選べる 2 タイプをラインナップ。（右開き仕様有り）

真 空 包 装 機

保存・おいしさ・安全性、真空パックが商品の価値を高めます。
加熱調理品に対応したホットパックタイプの他、液晶タッチパネルタイプや
小型タイプ等の卓上型4タイプをラインナップ。

インバータ制御対面ショーケース

エコ蔵くん

新たに電源100V仕様がラインナップに新登場。
親水・抗菌トレイ採用で清掃性が向上。
雑菌の繁殖等を抑制し、庫内を衛生的に保ちます。

フラワー冷蔵ショーケース（冷凍機別置型）

はな庫ちゃん

天井と前面、2方向からのLED照明がお花を演出します。
ガラスには断熱性能に優れたNHガラス※を採用し、ガラス面の結露を抑えます。（※R部は除く）

チップアイスディスペンサー

従来のレバー式に加えて、ボタン式が新登場。
ニーズに合わせてお選びいただけます。
氷を注出する際の動作音を抑えた静音設計。

業務用食器洗浄機

エコ洗くん

ハッチタイプ電源100V仕様と、水道水を直接接続して使用可能なヒータ10kW仕様（ハッチタイプ・ドアタイプ）が新登場。
設置環境に応じて、最適機種をお選びいただけます。

会社の概況

平成28年６月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式366,080株を含む）
期末株主総数	3,183名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町３番13号　大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東２丁目４番３号　大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地６
福岡工場	福岡県太宰府市水城６丁目32番１号
関東大利根工場	埼玉県加須市豊野台１丁目345番地５
従業員数	2,376名
事業内容	・冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機および冷熱応用製品の製造販売およびリース並びに点検修理 ・冷熱機器の設備の工事および各種部品の製造販売並びに点検修理 ・厨房機器、装置、部品の製造販売およびリース並びに点検修理 ・店舗・厨房の企画、設計および施工

役員

平成28年６月30日現在

取締役最高顧問	尾崎　茂
代表取締役社長	尾崎　敦史
専務取締役	杉田　壽宏
常務取締役	小野　文男
取締役	前川　馨
取締役	西久保　博康
取締役	小野　芳明
取締役	尾崎　雅広
取締役	工藤　哲郎
常勤監査役	大津加　一治
監査役	日下　敏彦
監査役	野津　孝義

(注) 1. 取締役 西久保博康、小野芳明の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役 日下敏彦、野津孝義の両氏は、社外監査役であります。

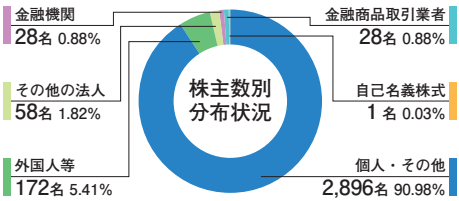
執行役員

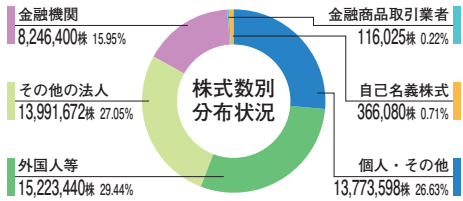
平成28年６月30日現在

社長執行役員	尾崎　敦史
専務執行役員	杉田　壽宏
常務執行役員	小野　文男
執行役員	前川　馨
執行役員	尾崎　雅広
執行役員	工藤　哲郎
執行役員	大久保　雅明
執行役員	江村　祥一
執行役員	平出　和茂
執行役員	中津留　彰
執行役員	小西　隆

株式分布状況

平成28年６月30日現在





株主メモ

事業年度	毎年１月１日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	６月30日
定時株主総会	毎年３月
株主名簿管理人	特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内１丁目４番５号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	特別口座の口座管理機関連絡先 大阪市中央区伏見町３丁目６番３号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話 0120－094－777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第１部
公告の方法	電子公告により行う（公告掲載URL　http://www.drk.co.jp/） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

1．株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。

3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク

「より迅速に、より適確に」をモットーに、お客様が安心してお使いいただけるようトータルサポートでフォロー致します。

大阪本社

東京本社

福岡工場

佐伯工場

関東大利根工場

大和冷機工業株式会社